

友達と私
—新しい自分—

グループ7 仁科晴喜（にしなはるき）

僕にとっての大切な社会は「友達」です。なぜなら、今までは家族と一緒にいる時間が多かったけど、大学に入って、講義や昼食、夕食、学校が終わって一緒に遊ぶ時など友達と一緒にいる機会が多くなったからです。また、私にとって「友達」はとても大切な存在だからです。

大学に来てほとんどが初対面の人で、最初は高校の時の友達と遊んだりしていました。でも、高校の友達にも大学での友達ができ始めたのでこのままだとダメだと思い始めました。そこで、まずは自分から話しかけることから始めました。ただ相手の話にあいづちを打つのではなく自分から話に入っていくということを心がけました。そしたら、知らないうちに一緒に遊んだりするようになっていました。

僕は友達がいなければ何もできないと思います。たとえば、一緒に話をしたり、一緒にご飯を食べたり、一緒に旅に出たり、などなど数え切れないほどのことができなくなりきつと毎日楽しく過ごせません。一人でご飯や一人旅はまだ我慢できますが、一人で話をするつまり独り言は、たまにしている悲しくもなりますし、むなしくもなります。それから何より、良い思い出も悪い思い出も作ることができません。例えば同じ映画鑑賞でも、友達と一緒になら見た後に感動を共有することが出来るし、その映画について話をするができます。でも、一人だとそういったことが出来ません。だから、私にとって友達はなくはない大切な存在であり、また大切な社会なのです。

1回目の散歩では、まず、国際交流会館へ行きました。僕は、国際交流会館へ一度も行ったことがなかったけど、外装と内装が新しくてちょっとうらやましくなりました。国際交流会館では、ジョンの部屋におじゃましました。部屋にはベランダもついていて、いいな—と思いました。あと、ジョンの名前入りのお酒もあってびっくりしました。ジョンの部屋では、少女時代や韓国で有名な歌手やグループの動画や音楽番組を見ました。僕は、韓国のアイドルグループのことがあまりわからなかったけど、ジョンの解説付きだったので楽しく見ることができました。また、音楽のバラエティー番組は日本では見たことがないような形式の番組で新鮮な感じがしました。

次に、エイちゃんのバイト先で昼食を食べました。エイちゃんのバイト先はCHANBOY'S CAFÉというベーグルサンドのお店なので、もちろんベーグルを食べました。行ったときはちょうどハロウィンの時期だったのでチョコをいっぱいもらいました。内装もハロウィンの飾り付けがされていました。出てきたベーグルはとてもおいしくて、ボリュームもあったのでベーグル1個でおなかいっぱいになりました。こんなお店があったなんて知らなかったの、私の外食のレパートリーが増えて得した気分になりました。友達にもぜひ来てほしいので絶対に紹介したいと思います。

1回目の散歩を終えてジョンとエイちゃんの日常の一部を知って毎日の過ごし方は人それぞれで違うんだなと感じました。もっと地元の話とかもできたらいいなと思いました。

2回目の散歩では、まずグランマートで昼食やお菓子を買ってそのあと「千秋公園」へ行

きました。秋田での紅葉を見てみたいと思っていたし、紅葉を見ながら楽しく話をしたり、楽しくご飯を食べたりしたいと思ったのでここに行きました。散歩の当日は、寒さはありましたが晴れの天気で風もあまり強くなく、絶好とまではいきませんが散歩日和でした。千秋公園は紅葉の見ごろは過ぎてしまっていて落ち葉もたくさんありましたが、まだ紅葉が残っている木もありました。少しでもきれいな紅葉を見ることができて良かったです。そんな紅葉を見たり昼食をとったりしながらエイちゃんとジョンの受けている日本語の講義の話やジョンの好きな歌手の話など自分が今まで聞いたことがない話もすることができてよかったです。

2回目の散歩を終えて今回あまりできなかった僕の地元の話なども機会があったらできたらいいなと思いました。そして、今回の散歩を班員みんなが楽しんでくれていたらとてもうれしいです。

後日、みんなの社会について話し合いをしました。ジョンの住んでいる国際交流会館では、たまにパーティーのようなものが開かれているようで、実際にその様子を写真などで見せてもらいましたが、とても楽しそうでした。きっとこういうパーティーもきっかけにして友達が増えていってるんだなと思いました。また、韓国にはカフェがいっぱいあるらしいのでうらやましい気分になりました。そして、韓国には週2のドラマがあるらしくて、日本ではあまりないので聞いたときおどろきました。

エイちゃんはバイトを通して日本語の勉強や社会勉強をしていると聞きました。バイト先でもたくさん友達ができて、女子会も開いていると聞いて友達の輪がすごく広がっていて、いいなと思いました。そんな時でもエイちゃんは接客の様子も見て参考にしているらしくて、日常生活の中でも勉強しているんだなと思いました。そしてエイちゃんは、例えばペンを拾ってもらったとき中国の人は「ありがとう」と言うのに対して、日本の人は「すみません」と言うみたいに日本の人はよく謝るとも言っていました。それを聞いて確かにそうだなと思いました。普段意識していないことだったので新鮮な感じがしました。

僕と白鳥さんの散歩の行先はどちらも千秋公園だったのでまとめて話し合いました。白鳥さんは、千秋公園は誰でも遊べるふれあいの場所で、春は夜桜がきれいだけど千秋公園が社会なんじゃなくて、そこで話したりすることが社会だと言っていました。僕もそうだと思います。色々な場所に散歩に行ったけど、僕にとっての社会はその場所ではなくて、そこで友達と話したり食事したりというようなことが社会なのです。だから、話し合いの時に地元の話をしました。秋田の人は人のお世話が好きなかもと言っていました。僕の親戚が秋田に住んでいて、きりたんぼを家族で一緒に食べたことがあります。その時どんどんきりたんぼをすすめていたのを覚えていたのでなるほどと思いました。僕も地元のまつりの話をしました。青森県出身なのでねぶた祭り、ねぶた祭り、八戸三社大祭について話しました。後の2つに関しては全く知らないようだったので知っている範囲で説明しました。興味を持ってくれるか心配だったけど、面白そうなど興味を持ってきているようだったので良かったです。祭りの流れから屋台の話になり、中国にはエノキの串刺しがあると聞いたので一度は食べてみたいと思いました。逆にエイちゃんは玉こんを食べたことがないようだったので、ぜひ食べてもらいたいと思いました。

話し合いを通して友達は僕にとっての大切な社会なんだと思いました。話し合いをしていて、友達と話すことは楽しいと実感したし、時間を忘れるほど楽しい時間も過ごせるし、

知識や内面の点で「新しい自分」を発見することができます。韓国では、カフェがたくさんあること、中国では、ラーメンが60円で食べること、秋田では、はたはたのたまごを「ぶりこ」と言うことを初めて知りました。また、僕はそこまで人見知りではないと思っていたけど、僕は人見知りらしいです。このことは、自分自身じゃわからないことだったので、知ることが出来たことはとても大きいと思います。僕の紹介文への班のメンバーのコメントにも「友達は大切な存在だ」というようなことも書かれていました。だから、誰にとっても友達は大切な存在だと思います。でも新しい自分を発見させてくれる友達は他の誰にもない僕自身の社会だと思います。だから僕にとっての大切な社会は友達なのです。